

## パブリックコメントの実施結果について

那珂川市立地適正化計画（案）に対するご意見と市の見解

受付期間 | 令和元年 12 月 9 日（月）～令和 2 年 1 月 10 日（金）

受付人数 | 2 名

No	頁	ご意見	市の見解（案）
1	—	<p>新しい商業施設や公園を作るよりも、今現在ある施設を充実させた方が良くと思う。</p> <p>博多南駅前ビルやミリカローデンが魅力的な施設とは思えない。さらに新しい施設を作っても、いまいちぱっとしない施設になるのではないか。</p>	<p>既存施設の充実については、令和 2 年度からミリカローデンながわのリニューアル事業を実施予定です。</p> <p>このような既存施設の充実に加えて、総合運動公園の整備や商業施設の誘致などにより新たな施設も充実させていくことで、市の更なる魅力向上につながると考えています。</p>
2	—	<p>市役所周辺があまりにも不便すぎる。交通の便も車などがなければ不便であるし、商業施設的なものもないので、もう少し魅力的な市役所にしてほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、市役所へのアクセシビリティや周辺の利便性の向上が課題であることは認識しております。今後、行政・福祉拠点として本計画に基づき取り組みを行っていくことで改善を図っていきたいと考えております。</p> <p>また、本計画の中では、中心拠点の誘導施設として、行政窓口施設を位置付けています。市民の皆様にとって、行政サービスがより身近で便利なものとなるよう努めてまいります。</p>
3	—	<p>那珂川市の魅力の自然に関しても、街中に田んぼや畑があるのも魅力の一つではないか。それをなくして商業施設などを作っていけば近隣の市とさほど変わり映えしなくなる。</p>	<p>本計画の中でも、農地を含む豊かな自然環境を市の強みとして位置づけています。</p> <p>商業施設については、利便性向上、雇用の創出、税収等の面から将来のまちづくりに必要だと考えております。</p> <p>今後も、自然景観とのバランスを考慮しながら、市民の皆様のくらしを豊かにするための取り組みを進めてまいります。</p>

4	4 - 4 - 2 (1)	最もよく利用する商業施設（買い回り品）の約 80% が市外の施設である中で、具体的な商業施設の規模をどうとらえるか。	具体的な面積などを明示することはできませんが、市内の消費を促し、経済を活性化させるためにも、買い回り品等の購入が可能な、ある程度の規模を有する商業施設が必要であると考えています。
5	4 - 4 - 3	誘導施設への位置付けについて、新規の施設はないのか	市内に現在ない施設（新規の施設）としては、「集会機能（ホール）を有するホテル」、「行政窓口施設」が該当します。
6	—	立地適正化計画（案）に付属して、農林業の位置付けがほしい。特に農地整備について。	立地適正化計画は、市街地等における拠点の形成と拠点間ネットワークの確保を図ることにより将来にわたって持続可能なまちの形成を目指すものです。 農林業については、農業振興地域整備計画や森林整備計画等の個別計画に位置付けます。
7	—	人口が減少する中、計画地（新市街地）の今後の位置付けはどうか。	本市における立地適正化計画は、市街地の利便性や魅力の向上により、将来にわたって持続可能なまちの形成を図るものであり、そのためには、市街地におけるさらなる都市機能の集積等を図る必要があると考え、その受け皿となる新市街地の創出にかねてより取り組んでおります。本計画中には、新たな市街地の創出に取り組む区域を新市街地区域として位置付け、将来的に市街化区域に編入された際には、誘導区域への位置付けを検討いたします。